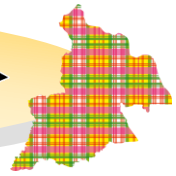


ふらっと・西京

かわら版 第10号

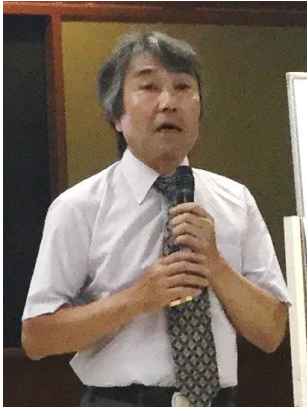
2016.10.19 発行



平成28年8月31日(水)西京区役所にて、今年度2回目のふらっと・西京が開催されました。

今日のふらっとさん

◆向三軒両隣のお付き合いこそが自治会の原点だ！◆桂坂学区自治連合会会長 山崎貴治さん



「あれは2008年2月のことだったと思います。くすのき自治会から、「来年の班長さんはお宅ですよ、よろしく！」と連絡が入り、班長会議に“ふらっと”出席しました。ところが、皆さん遠慮して次年度の会長がなかなか決まらない。つい、それじゃ私がやりましょう！と、軽く引き受けてしまったのが私の自治会活動の始まりだったんです。」と、今日のふらっとさんのお話が始まりました。

以来、くすのき自治会の会長を1年間、翌年からは桂坂学区自治連合会の副会長を4年。そして、現在は連合会長として4年目の働き盛り。山崎さんが、定年を機に第二の人生の全てを桂坂のさらなる発展にける熱い想いと力強い歩みがヒシヒシと伝わってきました。

1980年代半ば西山連峰に連なる松尾山、沓掛山の谷間を切り開いて誕生した桂坂。今では、総戸数3,900戸、人口13,000人の“人と自然、そして文化が調和するまち桂坂”へと大きく発展しています。自治会活動も盛んで、子ども達を中心とした桂坂統一夏祭り、“木もれ日”や“アンサンブルリラ”など多くのボランティアサークルが活躍しています。

とはいえ、少子高齢化、人と人のつながりの希薄化など、社会の大きな流れと無縁ではありません。発足当初は100%だった自治会加入率が28年度は85%まで下がり、活動に支障をきたすことも少なくありません。加入率の回復・向上が当面の最大の課題です。

自治会活動って、いったい何？と、自問自答しながら模索を繰り返すうちに、向こう三軒両隣のお付き合いこそが自治会の原点だ！との思いに至りました。最後に、“貴方はつながりを深めるために何をされていますか？”と締めくくられました。示唆に富む楽しいトークをありがとうございました。(伊藤省二記)。



第2回の「ふらっと・トーク」で話されたテーマ・内容

自治会員を減らさない取組と工夫

○問題意識の共有

- ・会員であるメリットは何？物心両面からアプローチすること。

○どうしたらいいか(アイデア)

- ・住民のふれあいを大切に！どんな行事、元気でるとりくみを考える。
- ・井戸端会議を網の目に！（至る所でできるといいね。）
- ・広報活動をていねいに全住民対象にする。
⇒各自治会での会長選出方法を考える。自治連合会本部役員の選出方法も模索する。

ギネス世界記録 あなたは参加しますか？

○問題意識の共有

- ・松尾、洛西の状況（フジバカマと重なる、音頭とりがない、交通（足）が少ない、会長と副会長との温度差がある）
- ・小石さんから主催側のお話を聞くことができた
- ・今日参加してこのイベントを知った方もいた

○どうしたらいいか(アイデア)

- ・あと25日、各イベントや各団体への追込みPR

○課題(難しさ)

- ・一住民なので、今どのぐらいの見込みがあるのかわからない。

老化防止する為スポーツで健康地域活動

○問題意識の共有

- ・老化防止はしてみたい
- ・人の出会い、近い場所、回覧板

○どうしたらいいか(アイデア)

- ・夜ランニング、ウォーキング、食事のしかた教室、大人の体育、健康になる気持ちの持ち方教室、趣味が二つを重ねる。ストレッチ

○課題(難しさ)

- ・迎える側のフラットさ
- ・広告のしかた
- ・地域は学区から西京へ

⇒どうしたら健康にいれるかをテーマに話して行きたい。



市バスの新ルート開設

○問題意識の共有

- ・洛西高校、エミナース、洛西支所、高島屋、保健センター、桂川街道、川岡東学区、桂高校
- ・西京区役所、洛西支所、保健センター、警察署
- ・エミナース、洛西高島屋、(イオン)
- ・病院(しみず、桂、三菱、西京)・・・高齢老人の手助

○どうしたらいいか(アイデア)

- ・1ルートですばやく行き帰りが出来たらよい。
- ・交通難民をなくす。

○課題(難しさ)

- ・新ルートなのでむずかしいと思いますが、西京区の人口が増えるような方策をとらないと今であれば減少する一方であるので実現して行きたい。

犬の正しい飼い方の普及啓発活動、 犬同伴の場所、使用できる場所

○問題意識の共有

- ・飼い主さんの問題意識
- ・モラルの問題
- ・犬との幸せな生活について
- ・正しい犬の知識を広め、飼い主が知る事、飼い主としての責任を持つこと
- ・場所も正しく使えるように

○どうしたらいいか(アイデア)

- ・イベントやフェスタに参加(知ってもらうこと)
- ・他の団体とのコラボ(法人、大学)

○課題(難しさ)

- ・犬の正しい知識が知らないために、犬だからと断られる。
- ・情報が沢山ありすぎて、正しい事と正しくない事が分かりづらい。

阪急高架下がこんな風になったらいいな

○問題意識の共有

- ・動線の整備(桂川ー洛西口ー桂)
- ・駅から遠い場所は行きにくい
- ・騒音は?

○どうしたらいいか(アイデア)

イベントスペース、フリースペース、芸大とのコラボ、歩道の整備、ランニングコース、スケートボード、交流サロン、足場、シェアハウス

○課題(難しさ)

- ・地域のためになり、かつ儲かることも必要。
→自分たちで運営に参加できるようなものも提案

テーマを提案された方の「記録シート」をもとにまとめました。詳細は、以下ホームページをご参照ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/nisikyoku/page/0000206910.html>



第2回から、京都経済短期大学准教授、NPO法人市民活動情報センター代表理事の今瀬政司先生に、アドバイスをいただくことになりました。先生には、「ふらっと・西京」の進め方へのアドバイスをいただくだけでなく、グループに入ってもらったり、第3回以降のカフェタイムの時に具体的な活動につなげるためのアドバイスをさせていただきます。

今瀬先生からのメッセージ(自己紹介)を掲載します。

「ふらっと・西京」企画運営専門アドバイザー 今瀬政司

今年4月に、西京区の国道芋峠にある「京都経済短期大学」に准教授として着任しました。ご縁があって、「ふらっと・西京」のお手伝いをさせて頂くことになりました。

私は1967年に名古屋市で生まれ、法政大学を卒業後、1991年に大阪にある(株)大和銀総合研究所(現りそな総合研究所)に入社して、国や自治体の経済・地域政策などの研究・政策立案に携わりました。その傍ら二足のわらじで、地域づくり、福祉、環境、災害支援などのNPO・ボランティア活動を行っています。2002年には、大和銀総研を退職して、阪神・淡路大震災時に設立した「市民活動情報センター」の代表理事(専従)に就任しました(現在に至る)。その後、人材育成に携わりたいと考え、長岡大学准教授(2013~2016年)を経て、京都経済短期大学に着任しました。

私の夢は、「世の中の矛盾で涙を流す人が一人でも少なくなるような社会をつくること」です。こだわりは、「仕事とボランティア活動」の両立と、「現場の実践活動と研究・教育」の両立です。著書は、『地域主権時代の新しい公共 希望を拓くNPOと自治・協働改革』(学芸出版社)などです。

現在、法政大学大学院兼任講師、地域活性学会理事、(公社)奈良まちづくりセンター理事、京都府「災害時連携NPO等ネットワーク」理事など兼任しています。過去に、内閣府「特定非営利活動法人の実態把握等に関する検討会」委員、大阪市「総合計画審議会」委員、日本NPO学会理事などを務めてきました。



次回、第4回「ふらっと・西京」は、12月15日(木)19時~ 西京区役所です！
ぜひご参加ください！